

# 相馬レポート～東日本大震災から4年～

## 進む復興と継続的な支援を

相馬市は、福島県の東北端、太平洋に面したまちです。東日本大震災では、地震、津波などで大きな被害を受けました。当市と相馬市は、災害時の相互応援に関する協定を結んでいます。この協定に基づき昨年、派遣した職員が、相馬市の状況を報告します。

● Before



● After



### 着実に進む相馬市の復興

#### 災害市営住宅団地が完成

昨年度、相馬市では4つの災害市営住宅団地が完成しました。これにより、平成24年度から整備を進めていた9つの災害市営住宅団地がすべて完成しました。9地区で合計104区画の分譲宅地と410戸の市営住宅が完成し、被災者の方々が安心して住み続けることができる環境が整えられました。

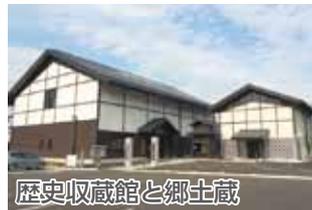
#### にいぬまかりしき だ 新沼刈敷田地区住宅団地



#### 復興施設、続々と完成

昨年7月には、相馬市郷土蔵が完成しました。これは、震災で被災し喪失のおそれのある民俗資料を収集保存し、発信をしていく施設です。同月、文化交流の拠点となる相馬市歴史資料収蔵館も完成。続く9月には、相馬市復興交流支援センターが、サッカー場内に完成しました。普段は休憩所として利用でき、災害時は住民の避難場所になります。

今年2月、相馬市の魅力を発信する観光交流の拠点として、千客万来館・中央公民館が完成しました。施設の名前には「日本中から、世界中から、多くの方々に来てもらいたい」という思いが込められています。



#### 相馬市の復興の応援を！

国の重要無形民俗文化財にも指定されている<sup>そうまの</sup>相馬野<sup>まおい</sup>馬追が7月25日(土)から行われます。相馬市と南相馬市内で千年以上続く伝統的な神事です。約500騎の騎馬武者による「お行列」の勇壮な姿は必見です。また、震災で津波の被害に遭ったイチゴ農園も復興し、春先にはイチゴ狩りを楽しむことができます。今年3月には常磐道が全線開通し、アクセスが格段と良くなりました。一度訪れ、復興を応援してください。

- 危機管理課  
藤田慎之介
- 写真提供  
相馬市

